

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-180377

(43)Date of publication of application : 03.07.2001

(51)Int.Cl.

B60R 1/06

B60Q 1/32

B60Q 1/34

B60R 1/12

(21)Application number : 11-368973

(71)Applicant : MURATA KYOICHI

(22)Date of filing : 27.12.1999

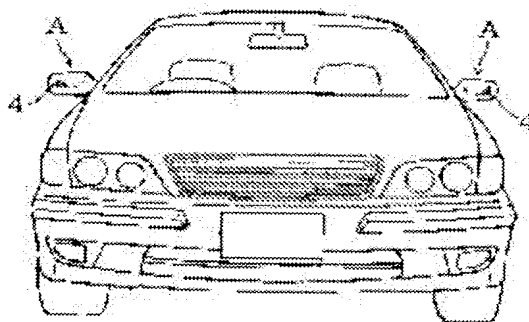
(72)Inventor : MURATA KYOICHI

## (54) DOOR MIRROR COVER WITH LAMP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a door mirror cover with a lamp in which the function for informing an oncoming car or the like of a car width as a marker lamp or a turn signal lamp (a direction indicator) for informing a change in the advance direction is added to the door mirror cover.

SOLUTION: This door mirror cover 3 used by installing in a mirror outer shell part 2 of a door mirror 1 is provided with a lamp 4 for a marker lamp or a turn signal lamp composed of plural light emitting diodes to constitute a door mirror cover A with a lamp.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-180377

(P2001-180377A)

(43) 公開日 平成13年7月3日(2001.7.3)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
B 6 0 R	1/06	B 6 0 R	1/06 D 3 D 0 5 3
B 6 0 Q	1/32	B 6 0 Q	1/32 3 K 0 3 9
	1/34		1/34 B
B 6 0 R	1/12	B 6 0 R	1/12 A

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-368973

(22) 出願日 平成11年12月27日(1999.12.27)

(71) 出願人 000203357

村田 亨一

大阪府堺市庭代台4丁目18番14号

(72) 発明者 村田 亨一

大阪府堺市庭代台4丁目18番14号

Fターム(参考) 3D053 FF31 GG06 HH14 HH47 JJ59

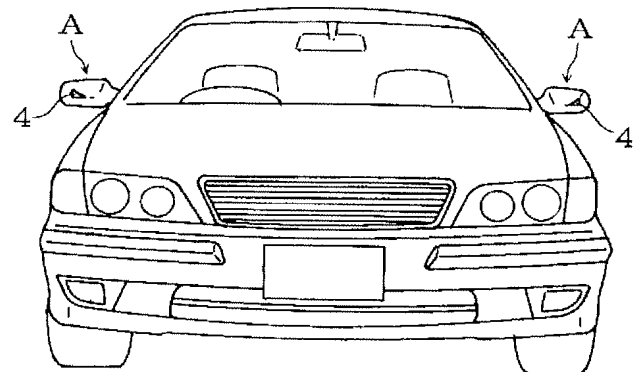
3K039 LB10 LD06

(54) 【発明の名称】 ランプ付きドアミラーカバー

(57) 【要約】

【課題】 ドアミラーカバーに、対向車等に車幅を知らせるためマーカーランプ又は進行方向の変更を知らせるためターンシグナルランプ(方向指示器)としての機能を付加したランプ付きドアミラーカバーを提供する。

【解決手段】 ドアミラー1のミラー外殻部2に取り付けて使用するドアミラーカバー3に、複数の発光ダイオードよりなるマーカーランプ用又はターンシグナルランプ用のランプ4を設けて、ランプ付きドアミラーカバーAを構成する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 ドアミラーのミラー外殻部に取り付けて使用するドアミラーカバーにランプを設けて成るランプ付きドアミラーカバー。

【請求項2】 前記ランプとして発光ダイオードが用いられていることを特徴とする請求項1に記載のランプ付きドアミラーカバー。

【請求項3】 前記ドアミラーカバーが略均一な肉厚に成形され、前記ランプがミラー外殻部とドアミラーカバーとの間に生じる空間を利用して配置され、ドアミラーカバーの表面に対して凹凸のない状態に設けられていることを特徴とする請求項1又は2に記載のランプ付きドアミラーカバー。

【請求項4】 前記ランプがマーカーランプであることを特徴とする請求項1～3の何れかに記載のランプ付きドアミラーカバー。

【請求項5】 前記ランプがターンシグナルランプであることを特徴とする請求項1～3の何れかに記載のランプ付きドアミラーカバー。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車のドアミラーのミラー外殻部に取り付けて使用するドアミラーカバーに関する。

**【0002】**

【従来の技術】自動車のドアミラーは、運転者が車体の側部後方を確認するためのミラーと、その前方を覆う外装用のミラー外殻部（自動車メーカーにより予め自動車の一部として組み付けられており、ドアに対して縦軸周りで起立倒伏自在に支持されている。）とを備えている。

【0003】ドアミラーカバーは、ミラー外殻部の保護、ボディカラーとの統一による美観の向上等を目的として使用されるもので、一般的には、合成樹脂の成型品であって、ミラー外殻部に外嵌し、両面テープで接着して固定するように構成されている。

【0004】ところで、ドアミラーカバーをミラー外殻部よりも前方へ突出した流線形の断面形状とすることは、見栄えがして、美観の向上に役立つのみならず、走行時における風の抵抗を軽減し、ミラー外殻部の空力特性の改善に有効である。この場合、流線形の断面形状としたドアミラーカバーを厚肉の中実構造とするよりも、略均一な肉厚に成形する方が、材料樹脂の節減、成形直後の冷却時における合成樹脂のヒケによる変形の防止、軽量化等の各面で有利である。

**【0005】**

【発明が解決しようとする課題】本発明は、ドアミラーが車体の側方に張り出しているため、これに装着したドアミラーカバーも対向車等から見え易いこと、ミラー外殻部よりも前方へ突出した断面形状のドアミラーカバー

を略均一な肉厚に成形した場合、ミラー外殻部との間に空間が生じること等に着目してなされたものであって、ドアミラーカバーに、対向車等に車幅を知らせるためマーカーランプ又は進行方向の変更を知らせるためターンシグナルランプ（方向指示器）としての機能を付加したランプ付きドアミラーカバーを提供するものである。

**【0006】**

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明は、ドアミラーのミラー外殻部に取り付けて使用するドアミラーカバーにランプを設けて、ランプ付きドアミラーカバーを構成した点に特徴がある。

【0007】尚、ランプとしては、マーカーランプ、ターンシグナルランプの何れであってもよく、何れの場合も、請求項2に記載のように、ランプとしては、電球よりも発光ダイオードを使用することが、消費電力の節減、故障防止等の面各で望ましい。また、請求項3に記載のように、ドアミラーカバーを略均一な肉厚に成形し、ミラー外殻部とドアミラーカバーとの間に生じる空間を利用して前記ランプを配置し、ドアミラーカバーの表面に対して凹凸のない状態に設けることが、ドアミラーカバーによる本来の空力特性の向上効果を損なうことがない点で、望ましい。

【0008】上記の構成によれば、ドアミラーカバーに、マーカーランプ又はターンシグナルランプ（方向指示器）としての機能が付加されているため、ドアミラーカバーとしての商品価値が高まるのみならず、本発明のランプ付きドアミラーカバーを使用することにより、車体の側方に最も張り出した部分にも、マーカーランプ又はターンシグナルランプとしての機能が付加されるから、対向車等による確認が容易であり、交通安全の向上に役立つことになる。

**【0009】**

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図面に基いて説明すると、図1～図3は、本発明に係るランプ付きドアミラーカバーA、Aが装備された自動車の一例を示す。1はドアミラーであり、鏡面とその前方を覆う外装用のミラー外殻部（自動車メーカーにより予め自動車の一部として組み付けられており、ドアに対して縦軸周りで起立倒伏自在に支持されている。）2とを備えている。

【0010】前記ランプ付きドアミラーカバーAは、ミラー外殻部2よりも前方へ突出した流線形の断面形状とされ且つ略均一な肉厚に成形された合成樹脂製のドアミラーカバー3に、複数の発光ダイオード4aよりなるマーカーランプ用又はターンシグナルランプ（方向指示器）用のランプ4を内蔵させて構成したものであり、ミラー外殻部2に外嵌し、両面テープ（図示せず）で接着して固定されている。

【0011】より具体的に説明すると、前記ドアミラーカバー3は、透明の合成樹脂材料によって後方が開口し

た形状に成形され、その内面にランプ4の光を透過させるための透明窓5となる一部を残して裏塗装6を施してある。前記ランプ4は、ミラー外殻部2との間に生じる空間を利用して配設され、ドアミラーカバー3の内面に透明窓5と対向する状態に接着等の手段により固定されている。

【0012】ランプ4から導出された電線（図示せず）は、例えばドアミラー1の鏡面とミラー外殻部2との隙間からミラー外殻部2の内部に導入され、さらに、ミラー外殻部2を起立倒伏自在に支持する縦軸の中空部を通して車内のダッシュボード内へと配線されている。

【0013】上記の構成によれば、車体の側方に最も張り出した部分にも、マーカーランプ又はターンシグナルランプとしての機能が付加されるから、対向車等による確認が容易であり、交通安全の向上に役立つことになる。

【0014】また、ランプ4は、ミラー外殻部2よりも前方へ突出した断面形状のドアミラーカバー3を略均一な肉厚に成形することによってミラー外殻部2との間に生じる空間を利用して配置されるため、図示のとおり、ドアミラーカバー3の表面に対して凹凸のない状態に設けることができ、ドアミラーカバー3による本来の空力特性の向上効果を損なうことがない。

【0015】図5は、他の実施の形態を示し、不透明な合成樹脂により略均一な肉厚に成形されたドアミラーカバー3の一部に切り抜き孔を形成し、この切り抜き孔に、透明窓5が一体化されたランプ4をドアミラーカバー3の開口部側から嵌め込んで、透明窓5の表面とドアミラーカバー3の表面とが面一になる状態に（凹凸のない状態に）設けた点に特徴がある。その他の構成及び作用は、図1～図4で示した実施の形態と同じであるから、説明を省略する。

【0016】図6は、他の実施の形態を示し、不透明な合成樹脂により略均一な肉厚に成形されるドアミラーカバー3を、ミラー外殻部2に合致した断面形状の内側板部3aとそれよりも前方へ膨出した断面形状が流線形の外側板部3bとで中空二重構造に構成し、外側板部3b\*

\*の一部には、中空部内に凹入した凹入部7を形成し、この凹入部7に、透明窓5が一体化されたランプ4を外側から嵌め込んで、透明窓5の表面とドアミラーカバー3の表面とが面一になる状態に（凹凸のない状態に）設けた点に特徴がある。

【0017】上記の構成によれば、ドアミラーカバー3がミラー外殻部2に合致した断面形状の内側板部3aを備えているため、ミラー外殻部2に対する接着面積が大きくて、強固な取付けが可能であり、それでいて中空構造であるから、全体を略均一な肉厚に成形して、成形直後の冷却時における合成樹脂のヒケによる変形を防止でき、且つ、全体の重量を軽減できることになる。その他の構成及び作用は、図1～図5で示した実施の形態と同じであるから、説明を省略する。

【0018】

【発明の効果】本発明は上述した構成よりなり、ドアミラーカバーに、マーカーランプ又はターンシグナルランプ（方向指示器）としての機能が付加されているため、ドアミラーカバーとしての商品価値が高まるのみならず、車体の側方に最も張り出した部分にも、マーカーランプ又はターンシグナルランプとしての機能が付加されるから、対向車等による確認が容易であり、交通安全の向上に役立つ等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のランプ付きドアミラーカバーが装着された自動車の正面図である。

【図2】要部の正面図である。

【図3】要部の側面図である。

【図4】ランプ付きドアミラーカバーの一部破断平面図である。

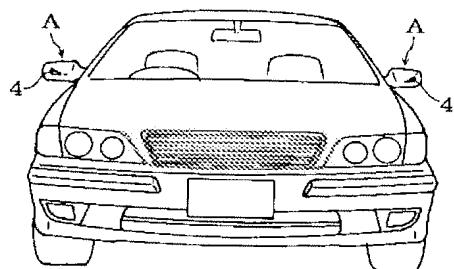
【図5】他の実施の形態を示すランプ付きドアミラーカバーの一部破断平面図である。

【図6】他の実施の形態を示すランプ付きドアミラーカバーの一部破断平面図である。

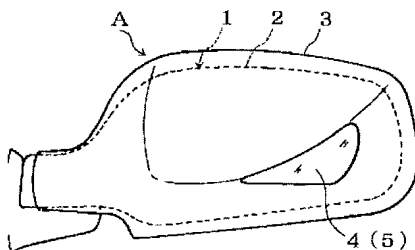
【符号の説明】

A…ランプ付きドアミラーカバー、1…ドアミラー、2…ミラー外殻部、3…ドアミラーカバー、4…ランプ。

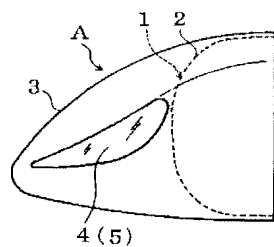
【図1】



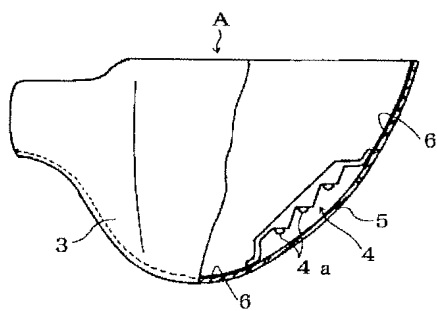
【図2】



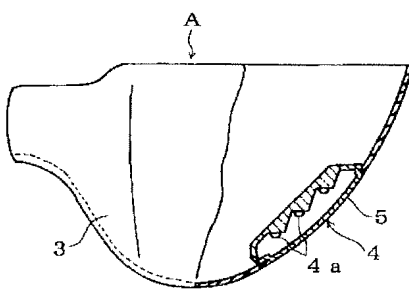
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

